

2017(H29)～2029(H41)

第2次稲敷市第総合計画

重点プロジェクト設定のための検討資料

■重点プロジェクトをどう考えるか(検討項目)

- ・重点プロジェクトは、基本計画に位置付ける。(基本構想に位置付ける方法もある)
- ・平成29年度から5年間の計画期間内において、稲敷市が重点的に取り組む施策を位置付ける。(長期的なスパンでの取組が必要なものについては、検討を開始または着手することを基本に取り組む。)
- ・50年先の稲敷市を展望しつつ、基本構想(13年)将来像実現のために先導的に取り組むべき内容を示す。
- ・緊急性が高く着実に実行することが期待されるもの、未来を築く戦略的なものを絞り込んで示す。
- ・絞り込む際の基本的な考え方は、市民ニーズの高さ、高度な政策判断に基づくものとする。
- ・稲敷らしさ、独自性、先導性、希少性、日本一など、重点プロジェクトに特徴を持たせる工夫が必要。

基本構想(13年間)

将来像

普遍的な目指すべき将来の姿

計画期間の取組姿勢・アプローチ

前総合計画の将来像を継承

みんなが住みたい素敵なまち

～大好き♡自慢のふるさとプロジェクト～

重点プロジェクト(5年間) 重点プロジェクトは基本構想の将来像を受ける

重点プロジェクト検討材料として、3つの視点、6つのプロジェクトを示します

重点プロジェクト

将来像実現のための具体的・先導的取組

重点プロジェクト検討材料

3の視点

子育て・教育

産業・定住

安心・安全

子育て・教育

■笑顔がつながる子育て応援プロジェクト

乳幼児期及び学齢期の子育て支援はもとより、それ以前の結婚・妊娠・出産の時期、義務教育以降の青年期までを通して、長期的に子どもたちとその保護者の夢と希望がかなえられるよう、切れ目ない支援や取組を積極的に進めることで、「稲敷市に生まれ育って良かった」と思えるまちを目指します。

また、地域全体で子育て世代を支える環境づくりを推進します。



■たくましく生きるいなしっ子プロジェクト

子どもたちの生き抜く力を醸成するため、稲敷市の豊かな自然にはぐくまれ健やかに成長できる環境を整えるとともに、基礎的・基本的学習の徹底など確かな学力の定着やグローバル化・ICT化の進行など社会の変化に対応した多様な教育を展開します。

また、幼児・児童生徒の安全対策を含め子どもたちが地域のなかで安全に守られ成長できるよう、教育の一義的義務を担う家庭教育の支援を強化するとともに、家庭・地域・行政が連携を強め地域の教育力の向上を図ります。



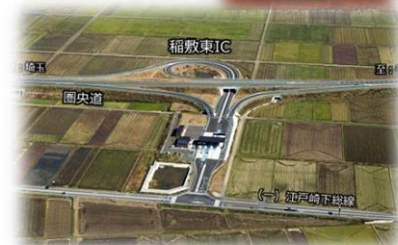
産業・定住

■地域経済活性化プロジェクト

地元企業の安定的経営を促進するため、稲敷市で操業する商工業など地元企業の活性化を支援するとともに、稲敷市の基幹産業である農業の持続可能な発展を図ります。

圏央道の開通効果を生かし、積極的な企業誘致を進めるとともに、創業支援の充実など新しい産業の創出を図り、地域における雇用の安定・拡大を目指します。

また、圏央道インターチェンジについては周辺エリアを含めた効果的な活用方策を検討していきます。



■住みたくなっちゃうまちプロジェクト

若い世代が求める多様な生活スタイル、稲敷ならではの自然環境や広い土地を生かした暮らし、三世帯同居・近居など様々な暮らしが実現できるよう、定住促進のための多様な支援を積極的に提供していきます。

特に進学、就職、結婚などのライフステージの転換期において、稲敷市に定住したいと思えるよう、子育て世代が稲敷市に住んでみたいと思えるような魅力的な住宅地の整備を検討します。



安心・安全

■安心・安全な地域づくりプロジェクト

市民が地域の中で安心・安全に暮らせるまちを目指し、消防・防災・防犯において、市民の生命と財産の保持を最優先に取り組みます。

防災においては、地震や風水害など大規模な災害に対応するため、市民への情報提供やライフラインの確保、広域による相互援助体制の充実、防災備蓄品の確保等を図ります。

また、地域ぐるみの消防・防災・防犯体制の構築、地域による高齢者の見守りのための仕組みの充実を図ります。



■地域の絆を生かした交流・連携・プロジェクト

防災、防犯、教育、福祉など様々な分野において、市民と市民、市民と行政が絆を深め協力し、暮らしやすいまちを目指します。

また、それぞれの地域がもつお祭りや習わしなどを大切に守るとともに、市民参加型のイベントを開催し、地域の交流・連携を深め、活性化を図ります。地域コミュニティやご近所の力を最大限に生かし、それぞれコミュニティでできることに積極的に取り組んでもらうための仕組みを構築します。

さらに、稲敷にしかないオンリーワンや地域の宝を再発見し、磨き、稲敷市の魅力を積極的に発信するなど、市の認知度や愛着心を高めるとともに、ふるさとの思いを大切に育てる取組を行い、みんなが大好きな稲敷市を目指します。

